

心の五訓

- 1 人を愛する心の人になりましょう
- 2 善を愛する心の人になりましょう
- 3 我が身を愛する心の人になりましょう
- 4 正を愛する心の人になりましょう
- 5 常に悪と戦う心の人になりましょう

社会福祉法人再生会児童養護施設さくら学園倫理綱領(新)

社会福祉法人再生会児童養護施設さくら学園職員は、児童一人ひとりがかげがえのない存在として尊重し、児童の生命と人権が守られた安全で安心な生活環境を保障し、社会的自立のための養育を行い、児童の最善の利益の実現を目指します。

1 個人の尊厳

私たちは、児童一人ひとりの人格をかげがえのない存在として認め、その主体性、個性を尊びます。

2 人権の擁護

私たちは、いかなる理由によってもいじめや虐待等の人権侵害を許さず、児童一人ひとりの人権を擁護します。

3 自己選択・自己決定の尊重

私たちは、児童一人ひとりの個性や特性の理解に努め、自己選択、自己決定を尊重した支援を心がけます。

4 安全で安心な生活の保障

私たちは、児童のプライバシーや個人情報の保護等に努め、安全で安心な生活環境づくりを推進します。

5 社会的自立への支援

私たちは、児童一人ひとりの自立支援計画を策定し、社会的自立のための支援に努めます。

6 関係機関及び地域との連携・交流

私たちは、適宜・的確な児童養育を推進するために、行政・教育機関との連携を図り、また開かれた施設運営を推進するため、地域交流に係る園内行事を企画し、地域活動にも積極的に参加します。

7 専門性の向上

私たちは、児童一人一人に適切な支援ができるよう、日々専門的知識・技術習得の研鑽に励み、専門性の向上に努めます。

平成29年12月7日 制定

施設運営基本方針

[施設]

1. 地域社会との連携
2. 行政・教育機関との連携
3. 児童の家庭との連携

[児童]

1. 思いやりの心を持つ、健康で明るい子どもに育てる
2. 自立心に富み、強い心を持つ子どもに育てる
3. 学習意欲を高め、学力の向上を図る
4. 責任を自覚し、善悪の判断が出来る子どもに育てる

[職員]

1. 自己の錬磨に励み、資質の向上を図る
2. 協調性を持ち、一体化した指導を図る
3. 児童の権利擁護を図り、平等公正な処遇に努める
4. 懲戒権の濫用を固く禁じ、児童の意見表明権を尊重する
5. 地域社会と積極的に交流を図る

児童処遇の取組みについて(新)

1. 児童の権利擁護について

人権の尊重は児童に対する「最善の利益保障」であり、施設内のネグレクト・暴力・いじめ等がないことが大前提で、特に、①意見表明権の保障 ②自立支援・将来への展望の支援 ③家族関係の調整 ④学習権の保障の実践に努めます。

2. 安全・安心な生活環境づくりについて

施設は、児童にとって家庭に代わる大切な「生活の場」であります。安全で安心な生活の場とは、「衣・食・住」が満たされた生活環境が保障されることにあります。

- ①「衣」では、常に清潔で、身体に合い、季節やTPOに合った着衣に努めます。
- ②「食」では、嗜好や健康状態に配慮し、食習慣を身につけさせ、食事は団らんの場にありますので、楽しくおいしく食事ができる環境づくりに努めます。
- ③「住」では、共有スペースや居室が整理整頓された家庭的な雰囲気づくりや、できる限りプライバシーの保護にも配慮した環境づくりに努めます。

3. 児童自立支援について

児童の自立支援の取組みの考え方は、児童相談所の援助方針を反映することが大前提であります。

そのうえで、ライフサイクルに沿った児童の反抗期・思春期や身体の成長期等の心身の変化が生じる節目に的確に対応した支援計画と小・中・高の入学時等の社会節目に的確に対応した支援計画を組み合わせた支援に取り組みます。

また、施設退所後のアフターケアの重要性を考え、家庭支援専門相談員を中心とした、自立支援の充実・強化に努めます。

具体的には、入所児童が、以下の「社会適応能力」を習得できるよう目指してまいります。

- ①衣・食・住の基本的な生活能力
- ②善悪（社会常識）の判断能力
- ③基礎学力
- ④金銭管理能力
- ⑤意見表明能力及びコミュニケーション能力
- ⑥ネガティブな感情・言動のコントロール能力

平成30年度事業計画書

* 月例行事 授業参観日 学校訪問 避難誘導訓練 献立検討会

職員会議（処遇会議：火曜会） 幹部会議 誕生会

さくらメール発信

	一般行事	学園関係行事	イベント・レクリエーション	学校関係行事
4月	新学期始業 みどりの日	年度事業計画会議 居室編成 幼児健康診断 体位測定 総合避難訓練 職員健康診断 さくらメール（保護者） 火曜会・献立検討会 第1期ケース検討会 第1期幼児ケース検討会	誕生会 買い物指導	小中高校始業式 小中高校入学式 幼稚園入園式 小中高校家庭訪問 小中学校検診
5月	八十八夜 憲法記念日 子どもの日 母の日 愛鳥週間 立夏 更衣	さくらメール（CW） 火曜会・献立検討会 総合避難誘導訓練 児童健康診断 体位測定 中学校との合同処遇会議	GWレクリエーション 誕生会 買い物指導	小中学校授業参観日 小6修学旅行 小中学校遠足 中高校中間テスト
6月	時の記念日 父の日 入梅 虫歯予防デー 計量記念日 夏至	九州児童福祉施設職員研究大会（福岡県） 火曜会・献立検討会 避難誘導訓練 体位測定	誕生会 買い物指導	プール開き 中2修学旅行 高校家庭訪問 小5宿泊学習

	一般行事	学園関係行事	イベント・レクリエーション	学校関係行事
7月	海・山開き 七夕 海の記念日 土用丑の日 夏休み	七夕祭り さくらメール（保護者） 火曜会・献立検討会 避難誘導訓練 体位測定	誕生会 県児童福祉施設球技大会	中高期末テスト 小中学校授業参観 小中高校夏休み 幼稚園宿泊保育
8月	鼻の日 終戦記念日 お盆 立秋	体位測定 児童現況調査（3児相） 施設実習受け入れ さくらメール（CW） 火曜会・献立検討会 小学校との合同処遇会議 避難誘導訓練 体位測定	県ソフトボール大会 誕生会 夏期帰省 残園児童対象レクリエーション 九州児童施設球技大会 キャンプ	夏休み登校 PTA奉仕作業
9月	防災の日 敬老の日 十五夜 秋分の日 更衣	火曜会・献立検討会 避難誘導訓練 西日本児童養護施設 職員セミナー（鳥取県） 体位測定 実習生受け入れ	誕生会	2学期始業（高校） 課題テスト 中高体育祭 小学校授業参観
10月	協同募金運動 法の日 体育の日 目の愛護デー 貯蓄の日	火曜会・献立検討会 避難誘導訓練 第2期ケース検討会 第2期幼児ケース検討会 体位測定	誕生会 秋休みレクリエーション	小学校運動会 幼稚園運動会 中高校中間テスト 中体連大会 中学校遠足 1学期終了 （小・中学校） 2学期始業 （小・中学校）

	一般行事	学園関係行事	イベント・レクリエーション	学校関係行事
11月	文化の日 勤労感謝の日 火災予防運動 七五三 立 冬	避難誘導訓練 さくらメール（保護者） 火曜会・献立検討会 体位測定	誕生会	小学校遠足
12月	人権週間 冬至 クリスマス 天皇誕生日 冬休み	体位測定 火曜会・献立検討会 避難誘導訓練	施設交流駅伝・持久走 大会 クリスマス会 誕生会 餅つき 正月帰省 残園児童対象レクリ エーション	中高校期末テスト 三者面談 中学校授業参観 冬休み
1月	元 旦 七 草 鏡開き 成人の日 大寒	就学児童説明会 火曜会・献立検討会 さくらメール（CW） 避難誘導訓練 体位測定	正月帰省 残園児童対象レクリ エーション 誕生会	3学期始業 課題テスト
2月	節 分 立 春 建国記念日 火災予防運動 バレンタインデー	豆まき 火曜会・献立検討会 避難誘導訓練 体位測定	誕生会	高3自宅学習 私立高校入試 中学校学年末テスト
3月	桃の節句 耳の日 春分の日 放送記念日 卒業式	施設実習受け入れ 避難誘導訓練 体位測定	お別れレクリエーション 誕生会	高校学年末試験 県立高校入試 小中校遠足 小中高校卒業式 幼稚園卒園式 離任式

平成 30 年度処遇計画書

名 称	日 程	摘 要
1. 園外保育	季節、天候に合わせ適宜	幼児、保育職員
2. 大掃除	休業日	児童、直接処遇職員
3. 買い物指導	休業日等	児童、直接処遇職員
4. 火曜会	第 1、第 3 火曜日	直接処遇職員 給食関係職員
5. 居室点検	第 1、第 3 火曜日	直接処遇職員
6. 菌検査	月 1 回	給食関係職員、保育士
7. 献立検討会	第 3 火曜日	直接処遇職員、給食関係職員
8. さくらメール	保護者・CW宛を指定月	直接処遇職員
9. 小学校との連絡会	指定日	担当職員
10. 授業参観（小中高）	指定日	直接処遇職員
11. 自由外出	休業日	中・高校生
12. 誕生会	適宜	児童、職員
13. 避難誘導訓練	指定日	児童、職員
14. 幼稚園参観	指定日	保育士

その他の処遇計画

1. ケース検討会	各学期 1 回（年 2 回）	直接処遇職員
2. 小学校合同処遇会議	夏休み（8 月）	直接処遇職員
3. 中学校合同処遇会議	1 学期（5 月）	直接処遇職員
4. 児童健康診断	4・11 月	全児童
5. 体位測定	毎月	全児童

平成 3 0 年 度 日 課 表

学 童 (平日)		学 童 (休日)		幼 児	
6:00	起床	7:00	起床	6:00 (6:30)	起床
6:00 ~ 6:35	朝食	7:00 ~	朝食		洗面・着替え
6:35 ~	洗面 小学生登校準備	7:35 ~	洗面 小学生学習	7:00 ~	朝食
7:00~	中学生登校			8:30 ~ 9:00	自由遊び
7:10	高校生登校				朝の会等
7:15	小学生登校	8:30 ~10:00	中高生学習 (小学生)	9:30 ~	おやつ
				9:45 ~11:00	保育
16:00	小学生帰園	10:00 ~	掃除のち自由	11:00 ~	食事準備
16:00 ~	小学生学習	12:00 ~ ※ 1	昼食のち自由	11:30 ~	昼食 (歯磨き・排泄)
17:00 ~	小学生入浴	15:00	おやつ・ 人員確認	12:00 ~13:30	午睡
17:30 ~	夕食 (中高生帰園)	15:15 ~17:00	自由時間	14:00	帰りの会
		17:00 ~	小学生入浴	14:30 ~	おやつ
18:00 ~	小学生学習 中高生夕食・ 入浴など 小学生おやつ	18:00 ~ ※ 2	夕食 中高生入浴	15:00 ~	保育
19:00 ~20:00	中高生学習	20:00	小学生点呼・就寝	16:00 ~	入浴
20:00	小学生点呼 小学生就寝	~20:50	自由時間	17:00 ~17:30	夕食 (歯磨き・排泄)
20:00 ~20:50	中高生おやつ 自由時間	20:50 ~21:00	点呼		夕食のち 自由遊び
20:50 ~21:00	点呼・ 中高生清掃	21:00 ~ 21:50	自由時間	19:30	消灯・就寝
21:00 ~21:50	自由時間	22:00	消灯・就寝		
22:00	消灯・就寝	21:00 ~	特別学習 (希望者)		
21:00 ~	特別学習 (希望者)				

※ 1) 休日等は、スポーツ活動・レクリエーション等の実施。

※ 2) 季節により、17:30~と18:00~食事開始の変動あり。夕食時間・入浴時間の若干の変更はあるが、基本的には20:00までに入浴はすませる。

※ 3) 学習においては、時間の変動がある。

平成30年度 学童生活指導指標

指導目標	指導項目	指導内容
生活訓練指導	挨拶 整理整頓 自立 清潔	1 明確な口調で挨拶や返事をする。 2 居室や机の整理をする。 3 作業や学習又は遊びの後始末をする。 4 感じの良い着衣や、衣類の整理が出来る。 5 洗面・歯磨・手洗い等衛生習慣を身につける。 6 靴の整理整頓に心がけ、定期的に洗濯し清潔感を保つ。 7 身体や衣服の清潔に心がける。 8 良い食事マナーを身につける。 9 <u>学習への集中力を養い、基礎学力を習得させる。</u> 10 協力と寛容の心を育てる。
心身の鍛錬	体力増進 耐久心 バランスの取れた栄養摂取 保健衛生	1 スポーツ活動を通して体力を増強する。 2 何事にも挫けない精神を養う。 3 誘惑に負けない強い心を養う。 4 <u>ネガティブな感情・言動のコントロール能力を養う。</u> 5 何でも良く食べ、偏食・過食しない。 6 病気予防に対し、正しい知識を持つ。 7 暑さ、寒さに負けない体力を付ける。 8 保健衛生に気をつけ、清潔感を保つ。 9 思いやりの心を育てる。
社会性の養成	責任 公德心 協調 規律	1 責任感を持ち、最後までやり通す。 2 他人のせいにしたり、言い訳をしない。 3 社会の物、施設の物を大切にする。 4 自分の物、友人の物を大切にする。 5 他人に迷惑をかける。 6 お年寄りや年少者に対し、思いやりを持つ。 7 日課表の時間や、帰宅時間を守る。 8 社会の決まりや、施設の決まりを守る。 9 善悪の判断力を持ち、悪い行動に走らない。 10 <u>自分の意見をしっかり表明する。</u> 11 <u>生活訓練費（小遣い）の計画的な用途により、金銭管理能力を養う。</u>

平成30年度 保育指標と年間計画

保育指標と生活のめやす	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士や学園の友達との安定した関わりの中で、食事、排泄、睡眠、休息などの生理的欲求が満たされ、又、自分の要求を受け止めてもらい、心身共に快適な生活、遊びが出来る。 ・ 身近な社会や自然に興味を持ち、絵本や視聴覚教材、歌、戸外遊びを通して季節を感じたりイメージを広げ、感性を豊かにし、言葉や身体、音楽、造形など自由な方法で表現する。 ・ 園外活動や身近な生活体験の中から社会のしくみや簡単なルールを知り、社会性の向上に努める。 		
	テーマ	行事	保育のねらい
I 期	健康で安全な生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居室移動 ・ 担当決定 ・ 春休み レクリエーション ・ GW (帰省・レクリエーション) ・ プール開き 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士との信頼関係の中で、自分の気持ちや考えを安心して表したり安全に留意しながら遊びを楽しむ。 ・ 様々な行事に参加し、学園の友達と楽しさを共有したり、異年齢児童との遊びを十分に楽しむ。 ・ 天候や自然の変化に興味を持たせる。
II 期	健康な身体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 七夕 ・ キャンプ ・ 夏休み ・ 夏季一時帰省 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の変化に気づき、夏の遊びを十分に楽しむ。 ・ 体験や経験を通して、活動した事や感じたことを、言葉で伝えあい、つながりを深める。又、体調面、情緒面に配慮し安定した生活を送る。 ・ 様々な活動の中で、最後までやり遂げる喜びや満足感を味わう。
III 期	自然との触れ合い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋休み レクリエーション ・ クリスマス会 ・ 餅つき ・ 冬休み ・ 冬期一時帰省 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な自然に親しみ、興味関心を持ち、イメージ豊かに表現する。 ・ 戸外遊びを充分に行い、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ・ 友達と一緒に音楽に合わせて歌い、踊ったりして行事に参加し、表現する楽しさを味わう。又、体調面、情緒面に配慮し、安定した生活を送る。
IV 期	自立と成長	<ul style="list-style-type: none"> ・ お正月 ・ マラソン大会 ・ 節分 ・ ひな祭り ・ 卒園式 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろんな活動を経験する中で、数量や文字などに興味関心を持たせる。 ・ 遊具、用具や自然物を使い、様々な動きを組み合わせる積極的に遊ぶ。 ・ 誉めたり、認めあったりすることで、出来ることの喜びを感じ、自信を持たせ、進級や就学への期待を持つ。

平成30年度レクリエーション計画

月	行事名
4	○春休みレクリエーション
5	○GWレクリエーション
6	
7	○施設球技大会（野球・バレーの部） ○遊泳レクリエーション
8	○残園児レクリエーション ○キャンプ ○施設球技大会（ソフトボールの部）
9	
10	○秋休みレクリエーション
11	○秋祭り
12	○施設交流駅伝・持久走大会 ○クリスマス会 ○餅つき
1	○残園児レクリエーション
2	
3	○お別れレクリエーション

*その他、年間を通して「ジャガイモ、サツマイモ、えんどう等」の栽培（管理育成）を行い、収穫祭を通しての地域交流、収穫物での調理実習を行う。

※30年度は休会

さくら学園 「児童会」 規約

第1条（名 称）本会は、さくら学園「児童会」と称す。（以下：児童会）

第2条（目 的）本児童会は、次代の担い手である子ども達の健やかな成長と社会自立を願い、以下の目的を掲げる。

- （1）日常生活における「挨拶・思いやり（社会性）」等を大切にする心を育て、児童会による話し合いの場にて「協調と団結」を設けること。
- （2）「子ども達の意見表明権」を行使し、子ども達の思いをしっかりと意見できる勇気・責任の持てる心を育てる。
- （3）施設生活における「地域交流活動・レクリエーション」等の施設行事について、その企画立案や積極的取り組みにより、児童の自主性・自立心を育てる。

[組織図]

児童会会員（入所児童全員）	
男子	女子
小学生部	小学生部
中学生部	中学生部
高校生部	高校生部
幼児部	

（*企画立案などの協議は、各部門別にて職員も参加して協議する。）